

H^{ヘルシー}Healthy かわら版！

和歌山県立桐蔭高等学校 保健委員会
2019年2月19日 第11号

麻しん(はしか)感染 急増しています！

麻しん(はしか)の予防接種を2回受けましょう！

麻しん(はしか)

「麻しんウイルス」によってひきおこされる病気。潜伏期間は約10～12日。38℃程度の高熱やかぜ症状が出た後に、体中に発疹がでます。時には脳炎を発症するなど重症になることもあります。麻しんは空気感染が多く、人から人へと容易に感染します。その他、飛沫感染、接触感染など様々な感染経路があります。感染力はきわめて強く、感染した90%の人が発症します。

麻しんにかからないために

麻しんウイルスは非常に小さいので、マスクの予防は難しくなります。唯一の予防方法はワクチン接種です。ワクチン接種によって麻しんに対する免疫をあらかじめ、獲得しておくことです。今まで麻しんにかかったことがなく、麻しんの予防接種を受けたことがない人は予防接種が望まれます。

本校のワクチン接種状況は、約76%の人が2回接種しています。まだ、接種をしていない人や1回だけの接種の人は、2回接種を受けることをお勧めします。(自費になります)

感染予防のため、人の多く集まるところを避けるなど、各自で注意しましょう。

麻しんにかかったら

医療機関を受診して診断を仰ぎましょう。明らかに麻しんの症状がある場合はもちろんですが、周囲で麻しんが流行している時に、かぜなどの症状が出た場合にも、受診前に医療機関へ電話でその旨を伝え指示に従いましょう。

もし、麻しん患者と接触して3日以内なら、麻しんワクチンで発症を防げる可能性があります。

【保護者の方へお願い】

お子様のワクチン接種の状況を母子手帳などで、ご確認ください。

麻しんの流行を繰り返さないためにも、ご協力お願いいたします。

